



Verde 11月 緑広報

NPO 法人 緑・ふれあいの家
(緑地域活動協議会)
理事長 久木 勝三
広報委員会
大阪市鶴見区緑 3-3-3
電話 (06) 6915-6333

第45回鶴見区民まつり

9月8日、花博記念公園鶴見緑地(ハナミズキホール一帯)にて「第45回鶴見区民まつり」が開催されました。今年も台風が発生し心配された天気は35度を超える猛暑日となり、緑ふれあいの家のテントでも、かき氷を求める長い行列ができていました。開会式が行われたハナミズキホールから出発したパレードでは、ピカチュウとその仲間たちをデザインし一新した緑連合のみこしが、揃いの法被姿で元気な掛け声をかける子どもたちに曳かれて出発。「ワァ〜ッショイ！」と声を揃える子どもたちに、緑ふれあいの家のテントからも大きな声援が贈られました。かき氷の他にも、いか焼き・ジュース・くじ釣りを出店しましたが、竿で釣ったくじをワクワクした表情で開き、嬉しそうに景品を選ぶ子どもたちの姿が見られて、笑顔いっぱいの楽しいお祭りになりました。

広報委員 榊井真紀



敬老祝賀会「壮年を祝う会」を開催

9月16日、暑さも和らぎ、秋の気配を感じるようになった敬老の日、みどり小学校の講堂にて、緑・敬老祝賀会「壮年を祝う会」が開催されました。開会宣言の後、NPO 法人 緑・ふれあいの家 久木理事長から挨拶がありました。鶴見区の長沢区長のご祝辞の後、みどり小学校栗田校長からも挨拶をいただきました。児童代表から、ご来場の皆様へお祝いのごことばと、「ふるさと」の合唱が贈られ、壮年を代表して、元町会長の光本氏がお礼のごことばを述べられました。ここで式典は終わり、その後はみなさんお楽しみのアトラクション。みどりマーチングバンドの演奏が始まり、舞台上ではポンポン・パトーンで元気いっぱいのダンスを披露してくれました。続いての登場は、みなさんご存知のグリーンモンスター。今年で11年目を迎えた子ども会のキッズダンスチームは、鶴見区内では常勝チームとなり、今年も元気に舞台いっぱいのダンスを披露してくれました。子ども文化祭のために練習を重ねている今年の作品は、クリスマスを題材にしており、完成度も高くなってきています。文化祭当日は、ぜひ応援に行きたいものです。そして、お馴染みとなった鶴見商業高校ダンス部の皆さんが登場し、いつもながら迫力満点のダンスに拍手喝采。小学生と高校生たちに若さと元気をもらい、最後は吉本興業の芸人「くるくるコミック」が登場し、軽妙なコントに会場は笑いの渦に包まれました。中でも指の体操は、大勢の人が一緒に、『♪1、2の3〜の4の2の5♪ 3、1、4の2の4の2の5♪』と指を折っていくのですが、これがなかなか難しく、頭の体操にもなりました。楽しいひと時を過ごして、皆さん笑顔で会場を後にされ、敬老祝賀会は無事に幕を閉じました。

広報委員 萩原厚子



鶴見区三世代交通安全大会



「秋の全国交通安全運動」期間中の9月28日に「鶴見区子ども会・みどり地区三世代交通安全大会」が関目自動車学校で開催されました。まず、「ミニ防犯教室」では鶴見警察署生活安全課から子どもたちに、最近鶴見区内でも声かけ事案が発生していて、ひとりで行動していると声をかけられやすいとのことで、「知らない人には絶対についていかず、ひとりで行動しないようにしましょう」とお話しがありました。つぎに、高齢者への特殊詐欺について、「鶴見区でもアポ電による被害があり、警察や区役所その他からキャッシュカードや残高の事を電話で聞くことは無いので、おかしい電話があれば家族や鶴見警察に相談して下さい」とのお話しでした。交通課からは「グーチョコキパーの交通安全」について、「グッドサイズのヘルメット」子どもと高齢者はヘルメットをかぶって安全に自転車を運転する。「チョッと先の横断歩道」横断歩道や信号機の無い所を無理に横断しない。「パツと明るい反射材」夜はきらきら光る反射材を身につけて安全に歩行する。その三つを心がけましょうとお話しでした。自転車の講習会では、バイクの教習コースに入った子どもたちが愛用の自転車に乗り、安全に気をつけながら障害物を避けたりカーブを曲がったりと、技術の向上に努めました。鶴見警察署管内では2年半以上交通死亡事故が無く、去年と比べても交通事故・被害ともに減少しているとのことで、再度ルール・マナーを確認し、さらに安全な鶴見区へつなげたいと感じる大会でした。

広報委員 榊井真紀

ほの灯り金剛寺は秋の風物詩



9月28日、念法さんの愛称で親しみ深い、念法真教金剛寺にて開催される「ほの灯り金剛寺」に行ってきました。まずは朱の鳥居と地藏様が目に飛び込んできます。そのあと600畳敷きもある広い拝殿前広場では、ろうそくを灯した色とりどりのカップ8000個が並べられ、その灯りはいつまでも見ていることができるくらい幻想的で心を落ち着かせてくれます。拝殿前にはカップに願い事を書き込んでろうそくを灯す「一念祈願灯り奉納」があり、みなさん思い思いの願いを書き込んでおられました。ほの灯りステージでは青年会の皆さんによる千手観音ダンスがあり、ダンスが始まるころには会場は立ち見が出るほど人で埋め尽くされました。ダンスはとても美しく素晴らしいものでした。私は初めてみるダンスの美しさに温かいものを感じました。また、ほの灯りカフェでは、おはぎやおもち、お茶が振舞われ、ホッと一息くつろがせていただきました。仕事や家事など日頃の忙しさから少し離れて心の癒しを感じる時間を過ごすことができ、時にはこんな風に日常から離れることで色々な自分と向き合うことができ、これもまた良い体験だと感じました。まだ行ったことのない方は、来年ぜひのぞかれてみてはいかがでしょうか？ちょっと違う自分と出会うことができるかもしれませんよ！

広報委員 竹本真理



ライオンズ 秋季球技大会
緑連合子ども会
ソフトボールチーム **出場**

鶴見区 子ども文化祭
緑連合子ども会
グリーンモンスター **出場**

※ どちらの行事も、裏面の行事予定表をご参照ください。

子どもたちが自分の身を守るためには



10月5日、みどり小学校講堂にて、Jr.防災リーダー養成講座が開催されました。かねてより問題視していた講座時間不足による学習内容の詰め込みを解消すべく、避難所一泊体験を隔年開催とし、今年は講座項目の半分を時間をかけて行うものとなりました。そのためか参加人数は少なくなりましたが、参加した子どもたちは一生懸命講座を受けていました。自身を守る研修、よくおこる災害、地震が起こったら、何が危ない？家の中では？町の中では？と子どもたちは自分なりにどんなところが危ないのか意見を出しあいました。また、「日頃の準備が必要なので、非常用持ち出し袋を家に準備してありますか？」との問いに、準備していると答えたのは、3〜4人。各家庭に有る物でも準備できますよと、実際の非常用持出袋の中を見ながらどんなものがあれば役に立つかを考えました。非常食の備蓄は被災時の食事に困らないために3日分を準備するのが望ましいですが、賞味期限切れなどに対応するのが難しく思われがちのようで、その対策としてローリングストック術も学びました。炊き出し体験では、被災した時の水不足に有効なパッキングの方法を学びました。体験メニューは白ご飯とシチュー。高密度ポリエチレン袋に材料を計り入れ、出来るだけ袋の中の空気を抜き、口を結びます。大きな鍋にお湯を沸かし、準備した材料を袋のまま鍋に投入し指定時間湯煎します。出来上がった白ご飯は袋の中でまとめ、シチューは各自持ってきたお椀を汚さないよう袋を被せ、一緒にいただきました。思ったよりも美味しく出来た料理に子どもたちは「シチュー美味しい！」と口々に話していました。この方法は、近年被害が多発している台風災害時にも有効なので、地域住民皆様も知ってほしいものです。食後、講座内容の振り返りとアンケートを記入し、最後に鶴見区長より修了証をいただき、閉講となりました。

広報委員 竹本真理



じもと減災防災訓練は実践的に

台風19号が中部・関東・東北で猛威を振るった翌日の10月13日、令和元年度の「緑じもと減災・防災訓練」がみどり小学校にて開催されました。これまでの避難所開設には緑地域の各社協団体等の委員が組織に割り当てられていましたが、実際の災害時には地元には不在の場合も多いと考えられ、避難所開設への即時対応に不具合が生じる事も想定されます。今年、緑地域では地元で避難所開設のリーダーとなるファシリテーターを養成し、災害発生時にはファシリテーターと避難所へ来られた地域住民を中心に避難所を開設・運営を行うこととなりました。各ファシリテーターはこの日までに2回の研修を受け、訓練日を迎えました。今回は午前9時に発災、10時にみどり小学校運動場に避難するスケジュールで実施。運動場に集まった23名のファシリテーターと当日参加された子どもから高齢者まで77名の地域住民で避難所開設に必要な組織を構築します。各ファシリテーターと参加者を総務部・管理部・衛生看護部・物資部・情報部の5つの部署へ割り振りを行います。参加者の皆さんは積極的に自分ができそうな部署を希望し配属されて行きました。次に、講堂へ移動しファシリテーターと参加者が4つのグループに分れて避難所開設後のワークショップを行いました。この中で各自に性別・年齢・職業・障害の有無を示した模擬避難者カードを配布し、それぞれの役になりきり避難所で必要なものは何か？実際にこの場でどの様に対応するかなどを話し合っていました。皆さん真剣に議論されていました。一通りグループでのディスカッションを終え、グループごとに結果をまとめ、その後、各グループのリーダーが検討結果を持ち寄り、まとめる際にも積極的な意見交換がおこなわれていました。

広報委員 野上裕志



	4	2	3			5	1
5			4				2
8				9	5	4	
		5	6		8		4
	8			2			6
	6		7		9	5	
		8	9	3			4
4					2		6
3	2				4	7	8

ナンプレ ～頭の体操～

- ・タテの各9列に1～9の数字が入ります。
- ・ヨコの各9列に1～9の数字が入ります。
- ・3×3の各9ブロックに1～9の数字がはいります。

お見舞い

近年、数々の自然災害より甚大な被害が発生しております。すべての被災された方に、心からお見舞い申し上げます。

ふれあい4コマ “しあわせ家族”

【ウソも方便】



「ウソも方便」ということわざがありますが、これはお釈迦様の逸話から生まれたといわれています。その昔、子どもを亡くして嘆き悲しんでいる女性に、お釈迦様が「死者を出したことのない家からケシの実をもらってきたら、子どもが生き返る薬を作ってあげよう」とおっしゃったのだそうです。女性は家々を回りましたが、死者を出したことのない家などどこにもないことに気づき、子どもの死を受け入れて、お釈迦様の弟子になったといいます。このように、お釈迦様でも人を救う手段(方便)としてウソをつかれたのだから、「善い行いをするためにはウソが必要な場合もある」というのが「ウソも方便」の真意なのです。ところが昨今は、「物事をうまくやるためにはウソをついてもよい」と都合よく解釈する人が増え、「ウソをついてもばれなければいい」という身勝手な意味で「ウソも方便」を使う人まで出てくる始末。しかし、ウソはばれるものです。もし人にばれなくても、神仏はお見通しです。そして、ほかならぬ自分自身にもウソはばれています。ウソをついたことがトゲのように心に刺さり、ウソが誰かにばれるのではとビクビクしたり、ウソをつきとおすためにまたウソを重ねたり、自分のついたウソが重くのしかかって、心が休まることはありません。そんなことにならないよう、安易に「ウソも方便」などと思わず、「ウソはばれる」と肝に銘じて正直に徹するのが、お釈迦様ならぬ私たち凡人の生きる道ではないでしょうか。

文責：念法真教金剛寺 内野芳徳

行事予定(11月～12月)

開催日	行事名	開催場所
毎週日曜日	日曜ふれあい喫茶	緑ふれあいの家
毎週水曜日	子ども見守り隊	通学路要所
毎週木曜日	緑ふれあいランチサービス	緑ふれあいの家
毎週火・木曜日	緑ふれあいトレーニングハウス	グリーンランドみずき 他
毎月第3火曜日	囲碁・将棋友の会	緑ふれあいの家
毎月第3木曜日	子育てサロン	緑福祉会館
毎月第4木曜日	ステップ教室	緑ふれあいの家
偶数月第2土曜日	緑いどばたクラブ	緑ふれあいの家
奇数月第4日曜日	地域一斉美化活動	緑地域全域
適時	地域防犯パトロール	緑地域全域
11/3(祝) 9:30～	緑女性会主催バザー	緑・ふれあいの家
11/10(日) 8:00～	ライオンズ秋季球技大会	緑地運動場
11/17(日) 8:30～	市青指親善ソフト・キックベースボール大会	大阪城公園野球場
11/24(日) 12:30～	人権啓発セミナー	緑・ふれあいの家
12/1(日) 9:00～	鶴見区ママさんバレーボール大会	鶴見スポーツセンター
12/8(日) 10:15～	鶴見区子ども文化祭	区民センターつるみ日建ホール
12/15(日) 9:00～	鶴見区卓球大会(冬季大会)	鶴見スポーツセンター
12/15(日) 9:00～	キッズフェスタ	みどり小学校
12/28(土) 20:00～	緑歳末警戒激励会	緑・ふれあいの家

NPO 法人 緑・ふれあいの家 ホームページ

<http://midorihureainoie.jimdo.com/>

フェイスブック・ブログもあります。ホームページからご覧ください。

本紙へのご意見・お問い合わせは、NPO 法人 緑・ふれあいの家へ

直接お電話いただくか、HP のお問い合わせフォームからお願いいたします。